

第 4 次各務原市地球温暖化対策地域推進計画

～みんなで未来につなげる美しい各務原～

概要版

令和 6 年 3 月



この計画は・・・

■計画の背景・趣旨

「第 4 次各務原市地球温暖化対策地域推進計画」（以下「本計画」という。）は、喫緊の課題である地球温暖化防止に向けて、各務原市が実行すべき事項を整理し、「各務原市環境基本計画」の基本理念「みんなで未来につなげる美しい各務原」の実現に寄与するために取り組んでいく効果的な地球温暖化対策を示すものです。

■計画の位置づけ

- 本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 19 条第 2 項に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）として位置づけます。
- 本計画は、市の最上位計画である「各務原市総合計画」をはじめ、環境に関する市の各種関連計画とも整合を図りつつ策定します。

■計画の期間

2024 年度から 2030 年度までを計画期間とします。

（カーボンニュートラルに関しては、国が 2050 年度にカーボンニュートラルを長期目標しているため、この計画の最終年である 2030 年度は中期目標とします。）

■計画が対象とする温室効果ガス

ガス種	部門	排出に係る活動
二酸化炭素 (CO ₂)	産業部門	製造業、建設業・鉱業、農業などの第一次産業及び第二次産業に関する活動によって発生・排出される
	民生家庭部門	家庭での生活、住宅内で発生・排出される
	民生業務部門	産業・運輸部門に属さない企業・法人内で発生・排出される
	運輸部門	自動車、鉄道などの人・物の輸送・運搬によって発生・排出される
	廃棄物部門	一般廃棄物、産業廃棄物の処理によって発生・排出される

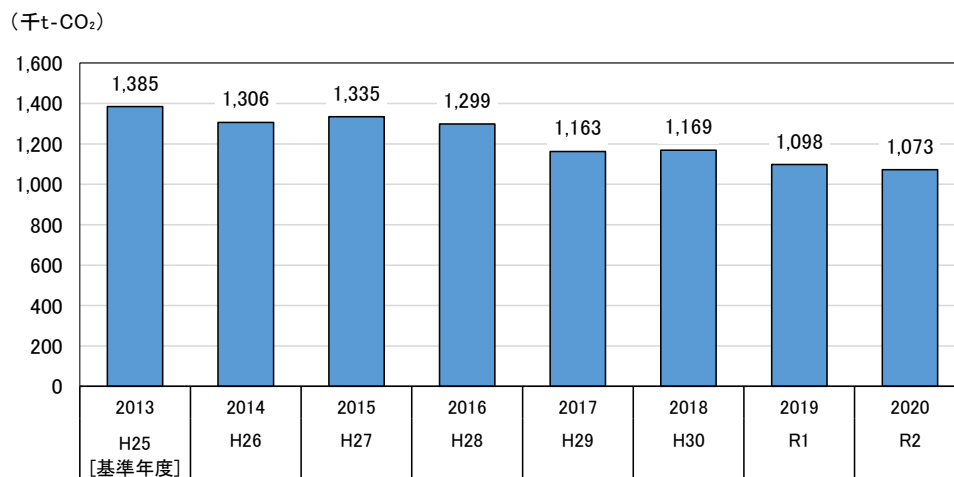
注) 三つ化窒素を除く 6 物質 (CH₄、N₂O、HFCs、PFCs、SF₆) を対象としています。



各務原市の温室効果ガス排出量の現状は・・・

温室効果ガスの排出量は、2020（令和 2）年度で約 1,073 千 t-CO₂（二酸化炭素換算）となっています。近年は減少傾向が続いており、2013（平成 25）年度（1,385 千 t-CO₂）から 22.5%減少です。

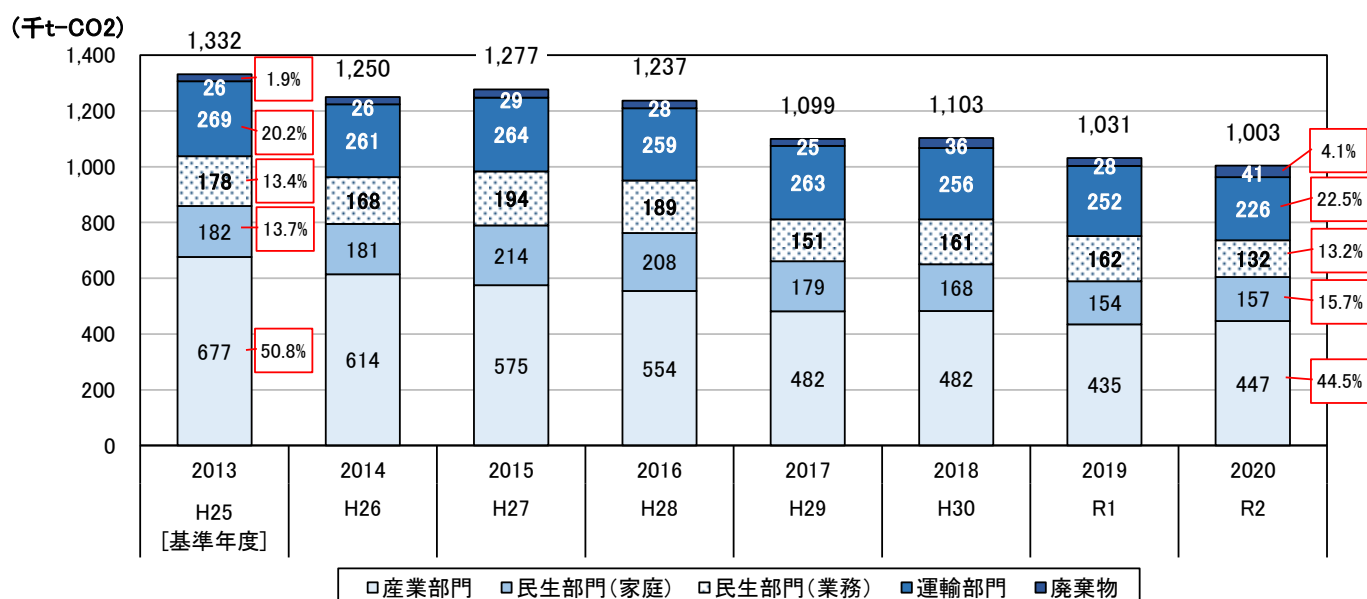
● 温室効果ガス排出量の推移



温室効果ガス排出量の大半を占める二酸化炭素の排出量も、2013（平成 25）年度（1,332 t-CO₂）から減少傾向が続いており、2020（令和 2）年度では 1,003 t-CO₂ と 24.7%減少しました。

内訳では産業部門が 677 t-CO₂ から 447 t-CO₂ と大きく減少し、二酸化炭素排出量減少の主要因となっています。事業者や市民の環境配慮の取組や効率のよい設備・機器の普及を背景に、産業、民生（家庭、業務）、運輸の 4 部門では 2013（平成 25）年度から減少しています。その一方で、廃棄物が 2013（平成 25）年度から増加しています。

● 二酸化炭素排出量の推移





温室効果ガス排出量の削減目標は・・・

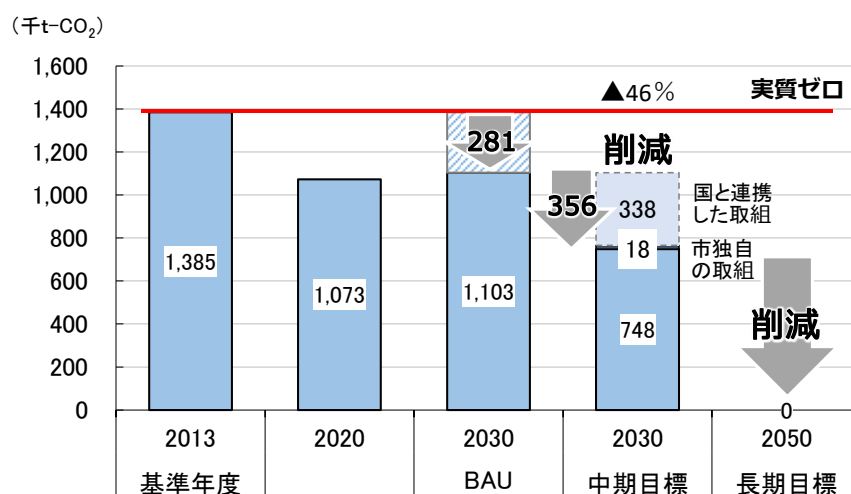
2050 年における実質ゼロを目指すために、以下の目標を設定しました。

◆計画期間における削減目標（中期目標）

2030 年度における温室効果ガス排出量を、2013 年度比で 46%削減する。

◆長期目標

2050 年度における温室効果ガス排出量を、実質ゼロとする。



【削減目標の考え方】

「BAU」とは、今後追加的な対策を取らない場合の排出量のこと、2030 年度の排出量は、人口などの動向から基準年度から 281 千 t-CO₂ 減少した 1,103 千 t-CO₂ になると見込まれます。

中期目標である基準年度比▲46%を目指す場合、さらに 356 千 t-CO₂ の削減が必要となります。

国主導で自治体と連携して進める「国と連携した取組」を徹底しても、18 千 t-CO₂ 不足します。▲46%を目指して、さらなる省エネや再エネの導入、カーボンニュートラルな電力・ガスなどの新技術の利用など「市独自の取組」を促進します。



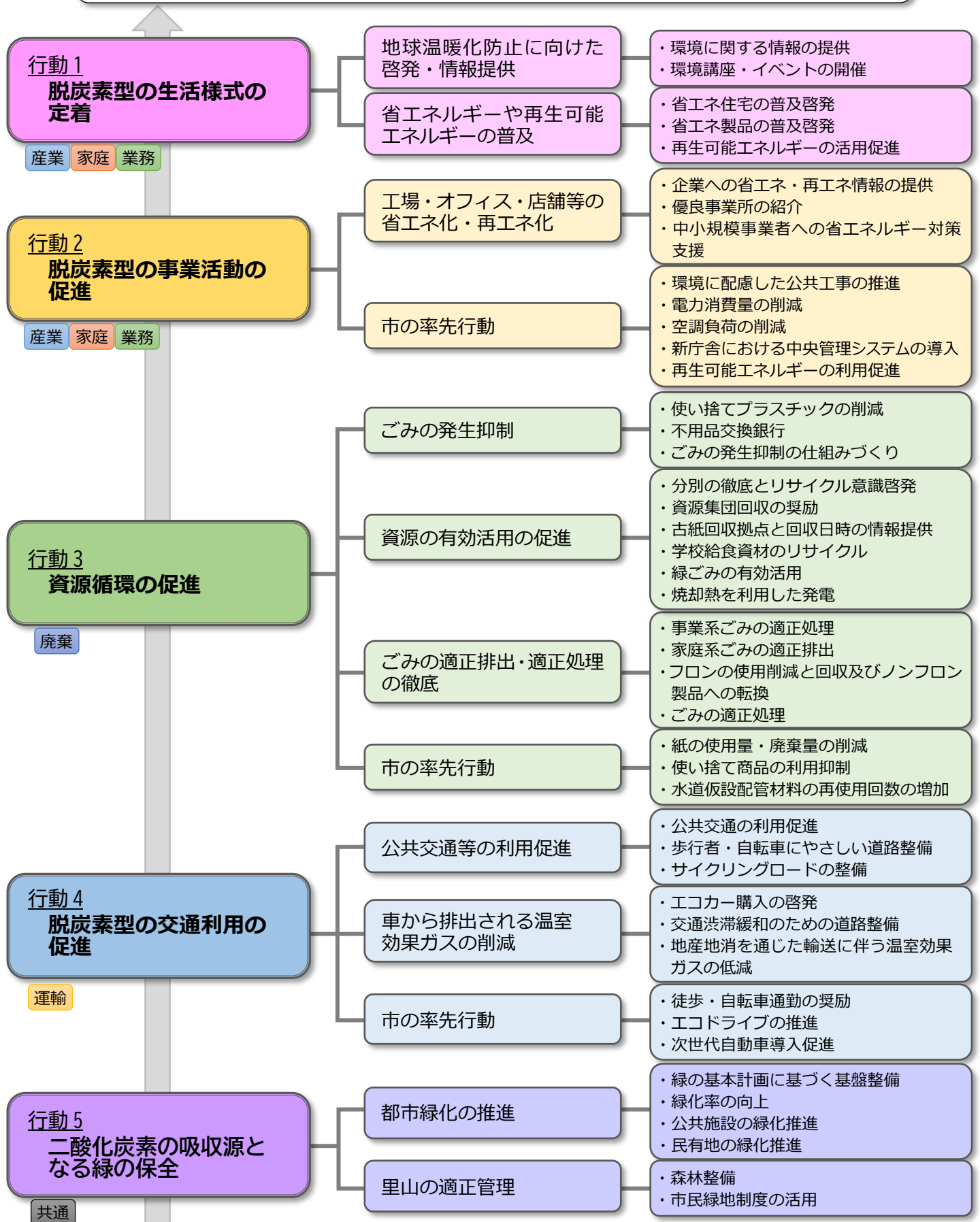
2030 年度 市全体での削減見込量（下記の取組を行った場合）

高効率機器への買い替えが進む 	産業部門	81.9 千t-CO ₂
	民生家庭部門	19.7 千t-CO ₂
	民生業務部門	13.3 千t-CO ₂
新築やリフォームの際に高断熱にする	民生家庭部門	7.3 千t-CO ₂
	民生業務部門	12.7 千t-CO ₂
次世代(燃費性能に優れた)自動車に買い替え 	運輸部門	36.2 千t-CO ₂
トラック輸送の効率化や共同輸配送の推進 		12.8 千t-CO ₂
バイオマスプラスチックに切り替え、廃棄物の焼却量を減らす	廃棄物部門	10.0 千t-CO ₂



市の取組は・・・

目 中期:2030 年度における温室効果ガス排出量を、2013 年度比で 46%削減する。
標 長期:2050 年度における温室効果ガス排出量を、実質ゼロにする。



注) 産業 家庭 業務 運輸 廃棄 は、行動によって削減した排出量が貢献する部門を示します。



市民・事業者の取組

市民、事業者も日常的な取組が必要です。ここでは、場面別に行動の例を示します。

行動 1

脱炭素型の生活様式の定着（市民に期待される行動）

温室効果ガスの排出量を削減するため、家庭でできる対策を実行しましょう。



省エネ行動の実践

不在時は消灯！

家電の待機電力を削減！

こまめに主電源を切って待機電力を削減しましょう。



エネルギーを節約！

冷房や暖房の温度を適切に調整しましょう。
家族が一部屋に集まり家族団らんの時間を増やしてエネルギーを節約しましょう。



地元産を選ぶ！

流通段階で環境負荷の少ない、地元産の農作物の購入を心がけましょう。



住宅の省エネ化

高効率機器に買い替え！

家電を買い替える場合は省エネ性能の高いものを選びましょう。



住宅を新築・改築する際は！

断熱性の高い素材を使ったり、効率の高い照明や給湯器などを導入して住宅の省エネ効果を高めましょう。
夏季にはよしずや緑のカーテンを利用して、暑さを和らげましょう。



再生可能エネルギー導入！

エネルギーを効率的に利用できる蓄電池や燃料電池、太陽光発電や太陽熱温水器などの再生可能エネルギーの導入に努めましょう。



脱炭素情報の共有

- ・子どもが地球温暖化防止に関心が持てるよう、家族で話し合しましょう。
- ・図書館やウェブサイトなどを活用し、地球温暖化防止に関する情報収集や学習を進めましょう。
- ・市の環境活動などの情報収集に努めましょう。
- ・市などが実施する環境学習の機会やイベント等に積極的に参加しましょう。
- ・地球温暖化防止活動等に取り組む団体の情報を収集するとともに、興味・関心のある団体の活動に参加しましょう。
- ・所属する団体の地球温暖化防止活動等の取組を積極的に発信し、地域や学校において子ども向け環境学習を実施しやすいように、講師の依頼があれば協力しましょう。



家庭でできる省エネ

機器	項目	省エネ効果 (月)	光熱費節約 (月)
エアコン	設定温度を適切に	約 2.52kWh	約 68 円
	フィルターをきれいに	約 2.66kWh	約 72 円
冷蔵庫	設定温度を適切に	約 5.14kWh	約 139 円
	入れる量を控えめに	約 3.65 kWh	約 98 円
洗濯機	洗濯はまとめて	約 0.49kWh	約 13 円
	乾燥はまとめて	約 3.50kWh	約 94 円
テレビ	明るさを控えめに	約 2.26kWh	約 61 円
電気ポット	保温時間は適切に	約 8.95kWh	約 242 円

出典) 温室効果ガスインベントリオフィス/全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより作成

行動 2

脱炭素型の事業活動の促進（事業者に期待される行動）

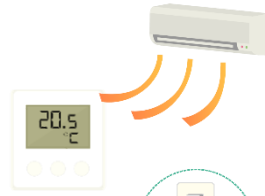
温室効果ガスの排出量を削減するため、事業所でできる対策を実行しましょう。



省エネ行動の実践

適切な室温管理！

夏の冷房時は室温 28℃を目安
冬の暖房時は室温 20℃を目安



不在時・昼休みの消灯！

PC モニターの電源オフ！

こまめに電源を切って待機電力を削減しましょう。



エネルギー消費を推進！

消費量を把握し、暖機運転の短縮・各種設定の緩和等で削減に努めましょう。
食品事業者等は地元産の農作物利用に努めるとともに PR を行いましょう。



事業者の省エネ化

設備の買い替え！

エネルギー効率が高く、環境負荷の低いものを選びましょう。



省エネ性能の向上！

新改築及び大規模修繕時に断熱性の高い素材を使ったり、窓を複層ガラスにすることで、事業所の省エネ性能を高めましょう。



製品の開発・販売！

使用時にエネルギー消費量の少ない製品の開発、販売に努めましょう。



脱炭素情報の共有、地域貢献活動の促進

- ・子どもが地球温暖化防止に関心が持てるよう、工場見学などを積極的に受け入れるとともに、講師の依頼があれば協力しましょう。
- ・脱炭素型事業活動の優良事例を収集し、自社の事業活動に活用しましょう。
- ・市などが実施する環境イベント等に積極的に参加しよう。
- ・地域の地球温暖化防止活動等に取り組む団体の活動に参加しましょう。
- ・自社や、所属する団体の地球温暖化防止活動等の取組を積極的に発信しましょう。

行動 3

資源循環の促進！（市民・事業者に期待される行動）

ごみを出さないライフスタイルを定着させましょう。

<市民に期待される行動>



ごみの発生抑制

食品ロス削減！

買い物の前に冷蔵庫の中身を確認し、陳列商品の手前取りをしましょう。
外食をする際には食べられる量だけを注文しましょう。

物を大切に！

「不用品交換銀行」でまだ使える製品を再利用したり、マイバッグ等を利用して使い捨て製品を減らしましょう。



資源の有効利用と適正処置

リサイクルを！

資源集団回収の趣旨を理解し、活動に協力しましょう。



分別しましょう！

分別ルールに従って、指定の場所に捨てましょう。
緑ごみや小型家電、食品トレイやペットボトル、の回収に協力しましょう。

<事業者に期待される行動>



ごみの発生抑制

3R 意識しよう！

3 R（リデュース、リユース、リサイクル）を意識しましょう。



ロス削減！

用紙の使用量や資材のロスを削減するように努めましょう。



資源の有効利用と適正処置

グリーン購入を！

資材等の購入に関しては、グリーン購入に努めましょう。
リサイクル商品の取り扱いを積極的に PR しましょう。

回収ボックスの設置・利用！

食品トレイやペットボトルなどの回収ボックスを設置するなどして、店頭回収を推進・利用しましょう。



行動 4

脱炭素型の交通利用の促進！（市民・事業者に期待される行動）

自動車による温室効果ガス排出量を削減するために、燃費に気をつけ、賢く自動車を利用しましょう。



自動車の走行距離の短縮

公共交通機関等を利用！

自動車の不必要な利用を控え、自転車や、鉄道やバスなどの公共交通機関等を利用しましょう。



再配達を減らそう！

日時指定や店頭での受け取りなどにより、宅配便の再配達を減らしましょう。



効率的に！

資材の発注や製品の輸配送は、なるべくまとめましょう。



自動車の燃費向上

次世代自動車を購入しよう！

自動車を買い換える際は、ハイブリッド自動車、電気自動車などを購入しましょう。



運転するときは！

環境に配慮したエコドライブに努めましょう。

点検しよう！

タイヤの空気圧等の点検、整備を行い、燃費の向上に努めましょう。



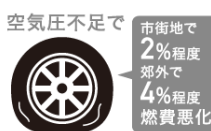
事業者は！

高速充電スポットの設置に協力しましょう。



エコドライブ 10 のすすめ

- ・自分の燃費を把握しよう
- ・ふんわりアクセル「eスタート」
- ・車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ・減速時は早めにアクセルを離そう
- ・エアコンの使用は適切に
- ・ムダなアイドリングはやめよう
- ・渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ・タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ・不要な荷物はおろそう
- ・走行の妨げとなる駐車はやめよう



出典) デコ活 ECO DRIVE/環境省

行動 5

二酸化炭素の吸収源となる緑の保全！（市民・事業者に期待される行動）

自宅や敷地、地域の緑化に取り組みましょう。



緑化の推進

緑化しよう！

自宅の庭や生垣、事業所の敷地、建物の屋上、壁面等を活用して地域の緑化を推進しましょう。



ボランティアに参加しよう！

地域の公園や街路樹の落ち葉清掃等のボランティア活動に参加しましょう。
里山保全や森林保全に関するボランティア活動等に協力しましょう



<市民に期待される行動>

管理に努めよう！

所有する山林の管理に努めましょう。



<事業者に期待される行動>

農業事業者は！

耕作放棄地などをつくらないように、農地を適正に管理しましょう。





計画の推進体制

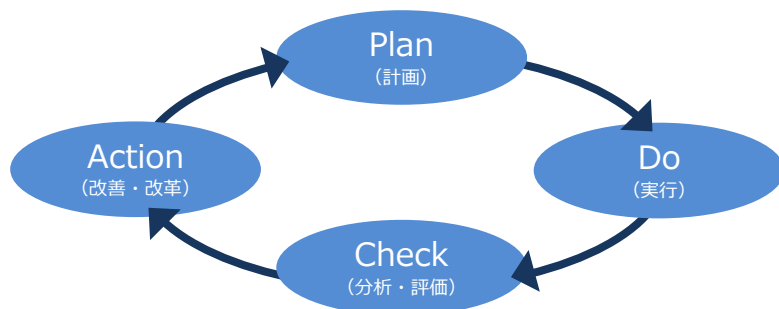
本計画に掲げた取組が市民・事業者・行政の連携により推進されるよう、ウェブサイトなどの媒体を活用しながら、内容の周知に努めます。

また、行政として、その事務事業における温室効果ガスの削減に取り組む実

行計画の立案と決定を行うとともに、担当課において実行計画における施策・事業の推進を図ります。

その結果は、毎年度の市の環境状況や計画の進捗状況を「環境報告書」として取りまとめ、公表します。

なお、国におけるエネルギー政策や地球温暖化対策に関する政策の変更、温室効果ガスの削減目標の見直し、新たな対応方針等が見直された場合、2030年度の計画期間満了前であっても、必要に応じて、適宜改定を行います。



省エネ関連 サイト情報

【しんきゅうさん】

古い家電製品は、最新機種に買い替える方が省エネになる場合があります。環境省のサイトで比較してみましょう。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>



【デコ活】

環境省では、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る運動を「デコ活」と名付け、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、活動を展開中です。今から約10年度、生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康で、2030年温室効果ガス削減目標も達成する、新しい暮らしを提案しています。サイトには、デコ活アクションの一覧が掲載されています。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>



【各務原市の取組】

各務原市公式ウェブサイトでは、「第4次各務原市地球温暖化対策地域推進計画」本編を掲載していますので、各務原市の温室効果ガス排出量の推移や、将来の見込みなどの詳しい情報をご確認いただけます。

このほか、環境を良くする活動や情報をまとめた「環境まなびサイト」や、家庭でできる「うちエコ！アクション」、市民が取り組めるリサイクル・リデュース・リユースなども紹介しているので、ご活用ください。

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/life/kankyogomi/1001508/index.html>

